

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：マウントクイック（非水溶性封入剤）
製品番号：DM-01（メーカー略号: DAI）
構成品名：Mount-Quick
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品情報部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

急性毒性(吸入):区分 4

皮膚腐食性/刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2

発がん性:区分 2

生殖毒性:区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1(肝臓、中枢神経系、呼吸器、腎臓)

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1(聴覚器、神経系、呼吸器)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 1

水生環境有害性 長期(慢性):区分 2

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

吸入すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害(肝臓、中枢神経系、呼吸器、腎臓)

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(聴覚器、神経系、呼吸器)

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 環境への放出を避けること。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地しアースをとること。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。
 漏出物を回収すること。
 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水と石けんで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

慣用名又は別名：エチルベンゾール、フェニルエタン(エチルベンゼン)、ジメチルベンゼン(キシレン)

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
エチルベンゼン	35	100-41-4	3-28; 3-60
キシレン	25	1330-20-7	3-3; 3-60

上記以外の成分：アクリル樹脂

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分 エチルベンゼン, キシレン

化管法(令和5年3月31日まで有効)「第1種指定化学物質」該当成分 エチルベンゼン, キシレン

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分 エチルベンゼン, キシレン

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

火気に注意する。適切な換気を確保する。(眠気、めまいのおそれがある)

医師に対する特別な注意事項

医師に暴露物質名、吸入毒性、発がん性を有するおそれがある物質であること、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置**消火剤****適切な消火剤**

泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤**棒状放水****特有の危険有害性**

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**特有の消火方法**

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

区域より退避させる。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

保護手袋を着用の上、ウエス等で拭き取り、密閉できる空容器に回収する。

汚染箇所はアルコールを用いて拭き取る。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
皮膚や眼との接触を避けること。

（火災・爆発の防止）

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
常温で保存すること。直射日光、火気を避けること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

（エチルベンゼン）
作業環境評価基準(2012) $\leq 20\text{ppm}$
（キシレン）
作業環境評価基準(2004) $\leq 50\text{ppm}$

許容濃度

（エチルベンゼン）
日本産衛学会(2020) 20ppm; 87mg/m³（皮）
（キシレン）
日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³
（エチルベンゼン）
ACGIH(2021) TWA: 20ppm（上気道及び眼刺激; 聴覚毒性; 腎臓影響; 中枢神経系障害）
（キシレン）
ACGIH(2021) TWA: 20ppm（眼及び上気道刺激; 血液学的影響; 聴覚毒性; 中枢神経系障害）

特記事項

（エチルベンゼン）
聴力障害
（キシレン）
聴力障害

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。
密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。（有機ガス用防毒マスク）

手の保護具

保護手袋を着用する。（不浸透性）

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。（不浸透性）

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：粘稠液体
色：無色～淡黄色透明
臭い：有機溶剤臭
沸点又は初留点及び沸点範囲：138℃
可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：1.1-7 vol %
引火点：27℃
自然発火点：463℃
分解温度：データなし
pH：データなし
動粘性率：データなし
蒸気圧：データなし
密度/相対密度：約0.94 g/cm³ (25℃)
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

水とは反応しない。

化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

直射日光、熱、高温、火気

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500-4700mg/kg (AICIS IMAP, 2020)

(キシレン)

rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

rabbit LD50=15400mg/kg (ACGIH, 2011)

(キシレン)

rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

急性毒性(吸入)

[製品]

区分 4, 吸入すると有害

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

vapor: rat LC50=4000ppm/4hr (産衛学会許容濃度の暫定値の提案理由書, 2020)

mist: rat LC50=55mg/L/2hr (換算値: 27.5mg/L/4hr) (MOE初期評価, 2015)

(キシレン)

vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)

労働基準法: 疾病化学物質

キシレン

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

ラビット 軽度の刺激 (NITE初期リスク評価書, 2007 et al)

(キシレン)

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性

[製品]

区分 2, 発がんのおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2000 et al.)

[IARC]

(エチルベンゼン)

Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(キシレン)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(エチルベンゼン)

A3(2021) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(キシレン)

A4(2021) : ヒト発がん性因子として分類できない

[日本産衛学会]

(エチルベンゼン)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

生殖毒性

[製品]

区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

cat. 1B; 産衛学会許容濃度等の勧告, 2021; ACGIH 7th, 2011 et al.

（キシレン）

cat. 1B; ATSDR, 2007

催奇形性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

[製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

（キシレン）

肝臓、中枢神経系、呼吸器、腎臓（NITE有害性評価書, 2008）

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

（エチルベンゼン）

気道刺激性（ACGIH, 2011; AICIS IMAP, 2020）

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

（エチルベンゼン）

麻酔作用（ACGIH, 2011）

（キシレン）

麻酔作用（NITE有害性評価書, 2008）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

（エチルベンゼン）

聴覚器、神経系（産衛学会許容濃度の提案理由書, 2020）

（キシレン）

神経系、呼吸器（NITE有害性評価書, 2008）

誤えん有害性

[製品]

区分 1, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

（エチルベンゼン）

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.63 mm²/s (40°C) (CLH Report, 2010)

（キシレン）

cat. 1; kinematic viscosity=0.86(o-), 0.67(m-), 0.70(p-) mm²/s (25°C) (HSDB, 2014)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 1, 水生生物に非常に強い毒性

区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)
甲殻類（ベイシユリンブ）LC50=0.42mg/L/96hr（NITE初期リスク評価書, 2007）
(キシレン)
魚類（ニジマス）LC50=3.3mg/L/96hr（NITE 初期リスク評価書, 2005）
水生環境有害性 長期(慢性)
[日本公表根拠データ]
(エチルベンゼン)
甲殻類（ネコゼミジンコ）NOEC=0.956mg/L/7days（環境省リスク評価第13巻, 2015）
水溶解度
(エチルベンゼン)
0.015 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2007)
残留性・分解性
[成分データ]
(エチルベンゼン)
急速分解性なし（良分解性；標準法におけるBODによる分解度：0%（通産省公報, 1990））
(キシレン)
急速分解性なし（BODによる分解度：39%（NITE 初期リスク評価書, 2005））
生体蓄積性
[成分データ]
(エチルベンゼン)
log Kow=3.15 (PHYSPROP DB, 2005)
(キシレン)
log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)
土壌中の移動性：データなし
オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：1866

品名(国連輸送名)：樹脂液、引火性

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：3

容器等級：III

指針番号：127

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの
防止を確実にを行う。

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質（該当/非該当）：該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類) エチルベンゼン; キシレン

国内規制がある場合の規制情報

消防法の規定に従う。
船舶安全法 引火性液体類 分類3
航空法 引火性液体 分類3

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

エチルベンゼン

有機則 第25条第1項第2種有機溶剤(特化則第38条の8)

有機則 第2種有機溶剤等

キシレン

名称等を表示すべき危険/有害物

エチルベンゼン(別表第9の70); キシレン(別表第9の136)

名称等を通知すべき危険/有害物

エチルベンゼン(別表第9の70); キシレン(別表第9の136)

別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物(0°C ≤ 引火点 < 30°C)

健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項)

エチルベンゼン

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)

第1種指定化学物質

エチルベンゼン(35%)[エチルベンゼン(35%)(1-053)];

キシレン(25%)[キシレン(25%)(1-080)]

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質

エチルベンゼン(35%)[エチルベンゼン];

キシレン(25%)[キシレン]

消防法

危険物 第4類 引火性液体第2石油類(非水溶性) 危険等級 III(指定数量 1,000L)

化審法

優先評価化学物質

エチルベンゼン(政令番号50 人健康影響/生態影響); キシレン(政令番号125 人健康影響)

悪臭防止法

キシレン 政令番号18:敷地境界線許容限度 1 - 5 ppm

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

エチルベンゼン; キシレン

水質汚濁防止法

指定物質

キシレン 法令番号 28

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第62版(2021年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。